

コイヘルペスウイルス病

Koi Herpesvirus Disease; KHVD

マゴイ、ニシキゴイのみに発生するウイルス病

マゴイ、ニシキゴイのみに発生するウイルスによる病気である。1998年にイスラエルで最初に発生し、ヨーロッパ、アメリカ、アジアにまん延した。我が国でも2003年に発生している。

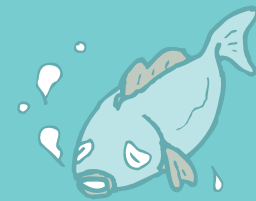
どんな病気?

1. 春から初夏、初秋から晩秋の水温が20~25℃で発病しやすい。
2. 遊泳が緩慢になり、平衡失調を示す。
3. 外観症状としては、眼球や吻部が陥没し、鰓の褪色、鰭基部の出血などがみられる。
4. 解剖しても特徴的な症状はとぼしい。



病気が発生したこい科魚類

コイ (マゴイ、ニシキゴイ)



発生があった国・地域

イスラエル
ヨーロッパ諸国
アメリカ合衆国
台湾、インドネシア、タイ、フィリピン、日本



眼球や吻部が陥没し、粘液が過剰に分泌される(マゴイ)。【埼玉県水産試験場提供】



鰓が褪色し、汚物の付着や欠損がみられる(マゴイ)。【茨城県内水面水産試験場提供】

